認知症について専門家へ聞いてみました!

問い合わせ 長寿いきがい課高齢者支援担当(1階⑤番窓口)

インタビュー回答者 武蔵の森病院 副院長 荒浪利昌さん

略歴

平成5年 北海道大学 医学進学課程卒業

ロール 専門分野:精神科・心療内科 資格・専門医:精神保健指定医

◆認知症はどんな病気ですか?

認知症とは、一度正常レベルに達した認知機能 (五感を通じて外部から入ってきたさまざまな情報を認識し、判断、決定、行動、会話、記憶する能力) が、以前に比べて低下し、自立した日常生活に支障を来した状態です。

認知症は、加齢に伴い発症する確率が高まります。日本における65歳以上の認知症の人の数は約600万人(令和2年現在)と推計され、令和7(2025)年には約700万人(高齢者の約5人に1人)が認知症になると予測されています。

◆認知症を来す疾患

アルツハイマー型認知症	認知症の約60%を占める。 症状は、もの忘れで始まることが多く、ゆっくりと進行する。 最近起きた出来事を忘れてしまい、同じことを繰り返し尋ねたり、物をどこにしまった か分からなくなったり、時間や場所が分からなくなることが増える。徐々に仕事や社会 生活に必要な複雑な業務の実行の際に間違いが目立ったり、時間がかかるようになる。
血管性認知症	脳梗塞や脳出血などの脳血管障がいに伴って発症する。 障がいされる部位によって、さまざまな認知機能の低下がみられる。症状は徐々に進行 する場合もあれば、階段状に急速に進行する場合もある。
レビー小体型認知症	現実には存在しないものが見えたり、手足が震えたり、体の動きが緩慢になり、転びやすくなる症状(パーキンソン症状)があらわれる。
前頭側頭型認知症	スムーズに言葉が出てこなかったり、社会的な規範を破る行動がみられるといった症状 があらわれる。

◆何科に受診すればいいですか?

内科、神経内科、精神科あるいは物忘れ外来の受診をお勧めします。

◆認知症の進行がどれくらい進んだ段階で受診するのがいいですか?

最近は、軽度認知障がいの段階(認知機能は低下しても、自立した日常生活に支障がない段階)から、認知症の予防のための取り組みが提唱されています。物忘れなどにより、仕事などの社会生活での困りごとに気が付いた段階で、医療機関の受診をお勧めします。

◆認知症の進行がどれくらい進んだ段階で受診に来ている人が多いですか?

認知症の発症早期に受診することは少なく、多くの場合は、 認知症の症状が進行し、問題行動が現れて初めて受診している と考えられます。



症状が進ん できたら、 受診する人 (約50%)

問題行動が現れても

受診しない人(約10%)

全国の介護支援専門員(ケアマネジャー)に対して 行われたアンケート調査結果(有効回答数1,471例)

◆なかなか認知症本人に受診してもらえない。どうやって受診につなげたらいいですか?

認知症と診断されたからといって、今までの生活全てが失われるわけではないこと、受診することで、そ の進行を遅らせる治療を受けることができるということ、困りごとをサポートしてもらえるさまざまなサー ビスがあることなどを伝えることが有効です。最後に、どうしても受診していただけない場合、訪問診療を 利用する方法もあります。

◆本人が受診しない場合、家族だけで受診・相談はできますか?

病院や診療所などが行っている医療相談を自費診療扱いで受けることができます。 また、地域包括支援センターで相談することもできます。



受診するメリット

①認知症か否かの診断を受けられる

- ○認知症と似た症状を呈する病気は、 うつ病をはじめ、ほかにもいくつ かあります。それらの病気の場合、 適切な治療を受ければ、認知機能 が顕著に改善する可能性がありま
- ○認知症であった場合、その進行を 遅らせるような薬物療法やそれ以 外の治療が受けられます。
- ②認知症により生じている生活の困 りごとの程度に応じて、介護保険 サービス等を利用することができ る

最新の治療

薬物療法として、アルツハイマー型認知症の脳内で その機能が低下していることが分かっているアセチル コリンという物質の働きを高める薬剤が、初期から中 期のアルツハイマー型認知症に対して使用できます。 また、中等度以上に進行したアルツハイマー型認知症 に対しては、グルタミン酸の過剰な働きを抑える薬剤 が使用できます。また、令和3年6月、アメリカ食品 医薬品局は、日本と米国の製薬会社が共同で開発する 新たなアルツハイマー型認知症治療薬を、条件付きで 承認しました。同薬は、アルツハイマー型認知症の原 因物質とされるたんぱく質「アミロイドベータ」を除 去する効果があるとされ、従来の認知症の進行を遅ら せる薬とは異なり、疾患そのものを治療できる薬とし て期待されています。

健康づくり(介護予防)、高齢者虐待防止、成年後見制度、認知症に関することなど

ご相談はお近くの地域包括支援センターへ

武蔵台一丁目26-8 (高齢者サポートセンター武蔵台内) 高麗地域包括 担当地区: 高麗地区全域 (高麗小学校区、武 支援センター 蔵台小学校区)※楡木を除く。 **☎**982-0111 **№**982-3302 楡木201 (総合福祉センター「高麗の郷」内) 高麗川地域包括 担当地区: 高麗川地区全域(高麗川小学校区、 支援センター 高根小学校区)※新堀の一部、楡木を含む。 **☎**984-1362 **™**984-1365 高萩1728-5 (日高団地入口交差点横) 高萩地域包括 担当地区:高萩地区全域(高萩小学校区、高 支援センター 萩北小学校区) **☎**984-3001 **№**984-3005

地域包括支援センターとは?

認知症の人やその家族がいつまでも住 み慣れた地域で安心して暮らし続けるこ とができるよう、介護、福祉、健康、医 療などさまざまな面から、専門職が総合 的に支援するために設けられた総合相談 窓口です。認知症の人が安心して生活で きる環境づくりやコーディネートを行う、 認知症地域支援推進員も配置されていま す。

認知症初期集中支援チームとは?

認知症の専門医と専門知識を持つ看護 師、社会福祉士、介護支援専門員等で構 成しています。認知症が疑われる人や認 知症の症状で困っている人の自宅を訪問 し、相談に応じ、病院受診や介護保険等 サービスの利用、家族への支援など初期 支援を行います。支援を希望する場合は、 地域包括支援センターへ相談してくださ い。